



2016年

9・10月号

No.404



◆◆◆ 本年度会長方針 ◆◆◆

「会わなければ始まらない!『Face to Face!』」

例会日/毎週月曜日 12:30 ~ 13:30
 例会場/広島サンプラザ TEL (082) 278-5000
 会長/高尾 昌二 幹事/松本 猛

事務局

〒738-0015 広島県廿日市市本町5番1号
 廿日市市商工保健会館4F
 TEL (0829) 31-5490 FAX (0829) 31-5491
 E-mail / office20@h-hrc.com
 URL / http://www.h-hrc.com/

第912回 広島サンプラザ 2016年9月5日

会長時間

会長 高尾 昌二



誕生祝



卓話

「漢字の由来から読み取る日本人の道徳」

平塩 清種 会員



第913回 株式会社ウッドワン 2016年9月12日

職場訪問例会
 株式会社ウッドワン
 廿日市市木材港1-1



第914回 広島サンプラザ 2016年9月26日

会長時間

理事会報告

副会長 松野 正信

卓話

「けん玉に魅せられて」

日本けん玉協会西広島支部長
 けん玉道 5段 砂原 宏幸 様



第915回 広島サンプラザ 2016年10月3日

会長時間

会長 高尾 昌二

卓話

「各社の人育て」

中国新聞 編集局
経済部長 兼 論説委員 吉原 圭介 様

中国新聞の地方経済面でこの春、「わが社の人育て」コーナーを始めた。隔週水曜付。企業にとって、若手の育成は最重要課題の一つだ。期待を掛け、試行錯誤しながら人材を育てようとする様子がかがえる。

研修内容はさまざま。既に結果が数字として表れているものから、コストに見合う結果を伴うのかと、こちらが気をもむものまである。企業ごとに経営者や創業者の思いが詰まっているようで、読んでいておもしろい。掲載した企業からいくつかの取り組みを、独断と偏見をもとに分類して紹介する。

【社内資格】ソースメーカーはお好み焼きの歴史や具材、作り方の基礎などを習得させるため、初級「インストラクター」、中級「コーディネーター」、上級「マイスター」の資格を作り、試験をしている。名刺に記載でき、昇格の条件にもなる。

【客体験】スーパーは新入社員に毎朝、旬の野菜を使った弁当を作らせる。2カ月間。「働きながら子育てや介護をし、日々の食事を準備することがいかに大事か。弁当作りを通して学び、将来の売り場作りや商品開発に役立ててほしい」と担当者は狙いを語る。

【DVD活用】熟練の技を動画撮影し、工程ごとにDVDにしたのはコンプレッサーなどのメーカーだ。「先輩はいつも隣にいてくれるわけではないが、映像はいつでも指導してくれる」と好評という。【褒める】ホテルでは社員同士が「ナイスプレーカード」渡し、気配りなどを褒め、育て合っている。

【体育会系】ポンプメーカーは4日かけて137キロを踏破する。高卒から大学院卒までの新入社員が一丸となれるという。【下流体験】家具メーカーはデザイナーと製造の間に位置する、設計者に2年間、製造現場を体験させる。ベテランが指導。上流と下流の円滑な中継ぎ役を期待する。

【土壌作り】製パンメーカーでは、希望した若手社員をマツダスタジアム80個分の敷地で約2年、土づくりから麦、野菜栽培などを体験させる。その名も「100年農場」。壮大な規模の人作りだ。

第916回 広島サンプラザ 2016年10月17日

会長時間

理事会報告

副会長 松野 正信



結婚祝

卓話

「未来につなぐ相続登記」

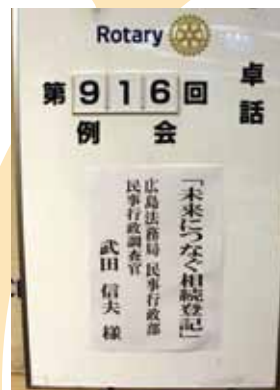
広島法務局民事行政部
民事行政調査官 武田 信夫 様

近年、相続登記が放置されたままになり、登記簿上の所有者と実際の所有者が異なることとなった結果、現在の所有者が誰なのかが分からなくなった土地や建物が増加しています。これにより、災害復旧や空家対策などに際して、土地や空家の所有者の特定に時間を要し、各種公共事業等を推進する上で支障となるケースが各地で報告されています。

広島法務局では、昨年度、登記の専門家である広島司法書士会と連携し、「未来につなぐ相続登記」推進プロジェクトを立ち上げ、相続登記の必要性・重要性を広く国民の皆様へ広報することで、相続登記を促進するという取組をスタートさせました。

この取組は、相続登記促進のための全国初の「官民タッグ」として新聞報道されるなど、ここ広島県を発信地として大きなウエーブを引き起こし、現在では、全国各地で、法務局、司法書士会、土地家屋調査士会の三者が連携した取組を行っています。

相続登記をしないで放置しておくと、例えば相



続した不動産を売りたいとか住宅ローンの担保としたいと思ってもすぐにできないなど、思わぬ不利益を受けることがあります。

また、相続登記の未了は、インフラ整備等の妨げになるなど、地域経済の活性化を停滞させる要因ともなりかねません。

広島廿日市ロータリークラブの会員の皆様におかれましては、相続登記の必要性・重要性を是非とも御理解いただきますとともに、取引先や身近な方々の中に「相続登記はまだ済ませていない。」という方がおられる場合には、「①自分の権利を守るため、②お子さんやお孫さんのため、③そして地域の人のため」に、早めの相続登記をするよう積極的に呼びかけていただきますよう、お願いいたします。

第917回 広島サンプラザ 2016年10月24日

会長時間



グループ7 ガバナー補佐
曾里 裕 様



会長 高尾 昌二

卓話

「米山月間に因んで」

2006-07年度 地区米山奨学会委員長
庄子 佳良 様

皆さん、こんにちは。広島北ロータリークラブの庄子でございます。

今日は、貴クラブの河内正晴会員からご依頼をいただき、卓話の時間に「米山記念奨学会」と「地区米山学友会」について、説明の時間をいただき本当にありがとうございます。

河内様には個人的にも非常にお世話になっておりまして、一生懸命務めさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



私は、2006年-2007年度、岩森茂ガバナー年度に、米山記念奨学会の地区委員長をさせていただき、前後3年間、米山奨学生と接して、彼らの優秀で、まじめで、ひたすら将来への希望を持って努力する姿に感銘し、また、彼らを支援している地区学友会という組織があることを知りました。

地区学友会は、1998年-1999年度の広島東南ロータリークラブの仁田一也ガバナーと、杉井英彦地区委員長の発案で創立され、有志による賛助会費で運営されておりました。

そのため広報活動が無く、年一回発行される会報に賛助会員の氏名が載るだけで、私を含めて会員の皆様に周知されておりました。

私は、1995年（平成7年）8月に入会し、今年で22年目を迎えましたが、3年間の地区委員会の関わりを経て、地区学友会の顧問として学友会のお世話をさせていただいております。

2009年6月28日には、地区学友会創立10周年記念式典と祝賀会を開催し、創立から10代のガバナーと地区委員長をお迎えし、盛大にお祝いをさせていただき、学友会を認知させていただきました。

2010年3月の会報から、会報を地区内全会員に配布することを決定し、学友会活動の周知徹底を図る努力を続けておりますが、私の努力不足で、まだまだ認知されていないと反省しております。

本日は、まずパワーポイントでロータリー米山記念奨学事業についてご説明をし、地区学友会についてもご説明をして、皆さんのご理解をいただきたいと考えておりますので、よろしく願い申し上げます。



第918回 広島サンプラザ 2016年10月31日

会長時間



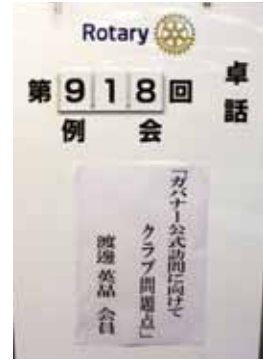
会長 高尾 昌二

卓話

「ガバナー公式訪問に向けて
クラブ問題点」



渡邊 英晶 会員



活動報告

水保全活動 御手洗川清掃
2016年10月2日



ガバナー公式訪問を迎えるにあたり

2016年10月31日
広島市サンプラザ 第918回例会
専任パブリシティ 渡邊英晶

2016年10月31日
2016年10月31日
2016年10月31日

4つのテストを日常化へ

- 「4つのテストを日常化へ」
- 「会員の予防検査」
- 「ロータリー財団創立100年にむけて」
- 「職業奉仕「地球住民の健康増進運動」」

「4つのテスト」を日常化へ

- 「4つのテストを日常化へ」
- 「会員の予防検査」
- 「ロータリー財団創立100年にむけて」
- 「職業奉仕「地球住民の健康増進運動」」

新しいアプローチを取り入れよう

「4つのテスト」を日常化へ

ロータリークラブ運営チェックリスト

専任と統廃

広島市サンプラザの活動

会員増強

公共イメージ

運営